

藤沢づくりに必要な3つの「力」

この総合計画は、「市民力」「地域力」「行政力」の3つの力を合わせてつくられました。



市民力
市民のみなさんの知識や経験などを藤沢づくりに活かしていく、さまざまな「力」のことです。総合計画をつくる過程では、市民のみなさんの意見を活かすための討論型世論調査や、パブリックコメント*3、全体集会などとおして市民力が発揮されました。将来像をめざして、地域づくりと藤沢づくりを実現していくためには、さらに大きな「市民力」が大切な役割をにないます。



地域力
それぞれの地域のみなさんが、ともに助け合い、協力して地域の課題を解決していく、さまざまな「力」のことです。地域のまちづくりや市域全体のまちづくりの計画づくりでは、各地区の地域経営会議と、その推薦委員や公募市民で構成する地域経営戦略100人委員会などとおして地域力が発揮されました。地域づくりと藤沢づくりを実現していくためには、さらに大きな「地域力」が大切な役割をにないます。

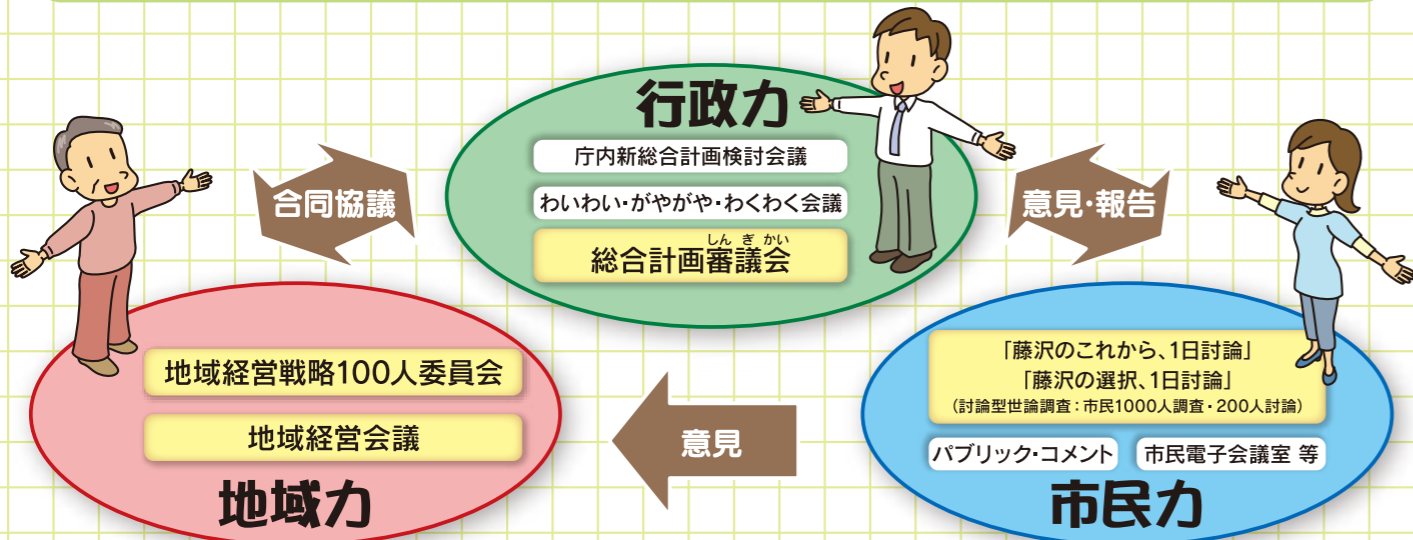


行政力
市民のみなさんの意見や各地域との話し合いをもとに、行政の職員が「丸」となって知恵をしょりながら計画をまとめる行政の「力」のことです。この総合計画をつくる過程では、特に若手職員による「わいわい・がやがや・わくわく会議」などとおして行政力が発揮されました。地域づくりと藤沢づくりを実現していくためには、活力のある「行政力」が大切な役割をにないます。

「市民力」「地域力」「行政力」は、ともに協力し合い、行政は行政の役割をしっかりとにない、よいところをさらに引き出すしくみです。それぞれがまちづくりをすすめていく中で、さまざまな工夫や知恵をともに学びながら、市民のみなさんのことをいちばんに考えた「藤沢づくり」へと発展させていきます。

メモ *3 パブリックコメント：行政がさまざまなルールを決めたりなくしたりするとき、市民のみなさんから意見や情報提供をしてもらい、決定するときの参考にする制度のひとつです。

新しい総合計画を策定したときの「市民力」「地域力」「行政力」のかかわりです



私たちの基本構想

基本構想の全体像

この総合計画の「基本構想」をわかりやすくまとめると、下の図のようになります。

「私たちの政府」宣言

- 「生活者の実感」で進める「藤沢づくり」をします。
- 「市民力」「地域力」「行政力」を発揮する「藤沢づくり」をします。
- 「私たちの政府」による自律と協働の「藤沢づくり」をします。

将来像

(20年後までの自律と協働の姿)

「私たちの政府」が創る、いまも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」

将来像を実現していくための3つの基本理念



基本理念 1
地域経営による永続的な市民主体の「藤沢づくり」を実現します

基本理念 2
市民と創る「自律するまち」の行政システムを構築します



基本理念 3
協働して広域連携を展開します

将来像を実現する「藤沢づくり」のめざす姿と活動

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿
～ 藤沢の都市ビジョン ～

「藤沢づくり」のめざす方向性
～ 20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～

都市ビジョン 1

市民の力が育てる生活充実都市



- 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち
- 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境
- 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

都市ビジョン 2

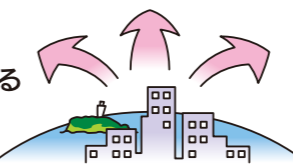
地域から地球に拡がる環境行動都市



- 4 共に生き、共に創る地域社会の創出
- 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
- 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

都市ビジョン 3

さらなる可能性を追求する創造発信都市



- 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生
- 8 公共資産の維持管理と有効活用
- 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

具体的な藤沢の未来をともにつくるための課題(ふじさわ未来課題)やまちづくりの目標などは、基本計画をごらんください。